

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター



ほっとすまいる ニュース



第 33 号 ◆ 平成22年 12月 1日

より良い看取りを考える

第16回 長野県療養型施設連絡協議会

研究発表会開催

介護保険制度が平成12年に始まって早11年目を迎えました。

制度が導入される前は、介護保険がどんな制度になるのか、導入されたら医療保険と介護保険の間で患者さんはどうなるのかなど、医療・福祉関係者は手探り状態で情報を得ようとしていました。

平成7年に同じような考えを持つ施設が集まり、当時の鹿教湯病院長の市川英彦先生を発起人に、この会の前身が発足して、現在の長野県療養型施設連絡協議会となりました。

発足当時から学習会や研究発表会を開催しており、10月22日に第16回長野県療養型施設連絡協議会研究発表会を鹿教湯病院で開催しました。長野県内15施設から56名の参加を得て、研究発表会テーマを「より良い看取りを考える」と題し10題の演題発表がありました。



研究発表会

終末期のリハビリテーションに関する演題では、最後まで人間らしくあるために、心身機能・身体機能の維持や苦痛の除去、人間の生理的欲求を尊厳を持って行えるような関わり、家族との関わりの中で存在を確認できるような関わり、生命・生活・人生レベルが維持できるような環境を整える必要性があり、ご本人が望むこと、望むと思われることが提供できる体制を検討したいと報告されました。

また終末期ケアに関する演題では、関わる職員の大半が不安を抱えていることや、その不安を解消するために患者さんが望むことなどを知り得る能力向上や、患者



挨拶する伊沢会長

家族との関わりを充実する必要性があることがわかりました。

入所者をより深く理解するための演題では、入所者の生活史を聞き取り調査し、その人となり介護する側が知ること、関心をもつて接することがその人らしさを大切にしたいケアや介護、看護につながるということがとり上げられました。

会の最後に伊沢真会長から「看取りは施設によりそれぞれの考え方やアプローチがあり、各施設の発表が今日の参加者には参考になることが多かったと思います。私もいろいろ考えさせられました。終末期や看取りは、いろいろなことが出てくるでしょう。それをどういう形でみんなまで支え合うか、職員同士の情報の共有や患者家族と話し合いを重ねることが重要ではないかと考えます。」と講評がありました。



鹿教湯病院 三才山病院

私たちは、保健、医療、リハビリテーションおよび福祉活動を通じて、高齢者・障害者が自分らしく生き生きと輝いてくらするために、地域のみならずとも支援いたします。

私たちは、患者さんを中心とした「納得の医療」を行います。

シリーズ

# 医用画像 撮影装置



その1

## 画像の進歩の話

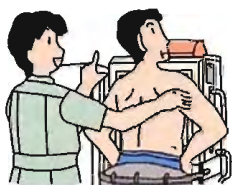
今月より数回にわたり、診療放射線科にあるいろいろな撮影装置について、その役割を交えてお話ししたいと思います。

今回は皆さんの診断に使用する写真（画像）の、ここ数年の装置の進歩に伴った移り変わりについてです。

まず撮影に使用する装置です。

レントゲン写真は、ほとんどの皆さんがご存じの通り放射線の中のX線を人体に照射して、その透過したX線を写真にして皆さんの診断に役立っています。

そのX線を発生する装置は、20年ほど前から現在に至るまで、技術の進歩により、人体に照射するX線を1100から11000、11000と効率よく減らし、人体への影響を少なくして



います。

最近ではコンピュータを利用した様々な機械があるように、医療の中でもX線の量や、時間・範囲などを最適に制御して管理し、写真や画像を作り出しています。細かい病変（1cm以下）などの発見もされるようになり、早期発見・早期治療の立役者と言っても過言ではないでしょう。

また診断に利用される画像を作るものにはX線だけでなく超音波や、磁石を利用して観察できるものもあり、X線だけに頼ることなく、いろいろなものを利用し、いろいろな角度から皆さんの診断に役立っています。これもすべてコンピュータの発達によるものと考えられます。

しかしながら昔からあるX線を利用したレントゲン写真は、さすがにノーベル賞もの発見であり、その診断の仕方方も古くから確立されてい

て、X線以外のものを利用しても、今なお画像診断の中心を占めています。

次に撮影フィルムの話です。

X線写真といえばフィルムを光にかざして観察していましたが、最近では画像モニタ（画面）に表示されます。

昔はX線フィルムを何段もの棚にぎっしりと詰め込んでいましたが、現在では画像をデータ化してコンピュータで管理保存するようになってきました。

何でもコンピュータの時代ですが、撮影することだけは



棚からコンピュータへ

人間が正確に的確に行っています。

今回は、鹿教湯病院の診療放射線科にある各種装置にて見ることが出来る画像についてお話しします。

鹿教湯病院

診療放射線科

おくしま としき  
奥島 俊樹

看護技術の再就職で自信に

鹿教湯病院でも

開催した、県看護協会と連携した再就職復帰支援講習会を10月に三才山病院で開催しました。

4日間の講習会では点滴や採血緊急時の対応・医療機器の使用方法・身体診察技術・移乗介助方法などの講義や実技を行い、久しぶりの実技も「大丈夫かな」などと言いながら取り組み、いつかは復帰したいとの感想が聞かれました。

当センターでは、家庭事情に応じて、週3日や短時間の勤務などの希望で働いている看護師もおり、採用者ごとの研修も行っています。資格をいかして、一緒に働いてみませんか？



心臓音を聞く受講者

看護師・准看護師募集

看護の現場から離れていた方が、中途採用された場合や再就職のための支援を行います。

不安があったり、疑問な点などありましたら、お気軽に人事課または看護部長までご連絡ください。一緒に働きませんか。

平成23年3月卒業の新卒者も同時募集しています。

センター人事課  
0268-44-2111

センター病院 運営委員会開催

センターの各事業についての運営や経営について報告と協議をしていたために、行政・医師会・JAおよび地元の有識者の方々に委員を委嘱し毎年開催している、鹿教湯三才山リハビリテーションセンター病院運営委員会を11月10日に開催しました。

平成21年度事業報告と平成22年度事業計画、さらに今春開設した介護療養型老人保健施設「いずみ」の状況について報告しました。

委員から医師・看護師確保対策や健康保養事業への質問、雇用開拓のお願いなど活発な意見交換がされました。

今後も委員の皆さまのご指導、ご協力をお願いして閉会となりました。



センター病院運営委員会

冬至とかぼちゃ

毎年12月22日頃に、1年で最も夜の長さが長くなる日があり、これを冬至と言います。昔から、この日にゆず湯に入り、冬至がゆ（小豆がゆ）やかぼちやを食べると風邪をひかないと言われていました。



が、かぼちやは別です。熟してないものは甘みが弱くパサパサしてカロテンも少ないので、丸のままなら時間をおきましよう。

●かぼちやについて

かぼちやは、とても栄養価の高い野菜です。特に豊富なのが、免疫力を高めるカロテンや、ビタミンE。ビタミンEは、ホルモン調整機能もあり、肩こりなどの更年期障害の症状を改善するほか、血行もよくしてくれま

●かぼちやの見分け方  
タネが硬いものは完熟。タネの間に隙間のあるものは熟しすぎです。

●かぼちやの保存法

カットしたものは傷みやすいので、タネの部分を取りぬき、ラップして冷蔵庫の野菜室へいれましょう。  
軽く茹でて冷凍も可能です。



三才山病院 栄養科

永井 きぬ子

シリーズ

# ワンポイント ヨガ



(モデル:黒岩院長)

開脚のポーズから片方の膝を曲げ、踵を手前に引き寄せます。背筋を伸ばし呼吸を整えたら両腕を挙上し(写真A)、軽く息を吸った後、息を吐きながら、徐々に上半身を側屈(そくくつ)していきま(写真B)。

限界の位置まで来て、息を吐ききったら、息を止めていないで、すぐに呼吸を再開し30秒以上この姿勢を維持します。この時、

顔面は下方を向けないこと。毎日行いたい基本的なポーズのひとつです。(毎日行いたいポーズは、他に、サギ・開脚・コブラ・ねじり系のどれかひとつ・足を胸につける、など)

写真A



写真B



⑬ 体側伸ばしのポーズ

## 万が一に備えて



スロープで避難



簡易担架で避難

医療福祉施設の災害対策の中で、重

要なものひとつに火災対策があげられます。日頃からの防火活動により災害を未然に防ぐことが最も重要です。万が一の場合に備え、慌てることなく迅速に行動し、被害を最小限に留めることが必要となり、職員の防火意識の向上と、被災時には各部署に配置された救助用具・消防設備が有効に活用できるように、センターの3施設で防災訓練を10月に実施しました。

鹿教湯病院では東病棟を中心に水平移動による避難を、三才山病院では夜間休日の職員が少ない時を想定して、老健「いずみ」は、施設開所から初めてのため手順を1つずつ確認しながら防災訓練を行いました。

訓練後消防署員による搬送方法の講習会や講評を頂き終了となりました。



屋内散水栓で放水訓練



搬送方法のデモンストレーション

## おしらせ

### ● 工事のお知らせ (鹿教湯病院)

11月17日より西棟駐車場に義肢装具室新築工事が始まっております。そのため駐車場が狭くなっておりご不便をおかけしております。満車の場合はゲート付の外来駐車場をご利用ください。

### 年末・年始休診のお知らせ

鹿教湯病院・三才山病院

12月30日(木)・31日(金)・1月1日(土)・2日(日)・3日(月)

豊殿診療所

12月30日(木)・31日(金)・1月1日(土)・2日(日)・3日(月)

4日(火)

### 1年間ありがとうございました

今年も余すところ1ヶ月あまりとなりました。日頃は地域の皆さま、ならびに関係各位のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

老健「いずみ」の開設と引越し、医療マネジメント学会

長野支部総会の開催、医療機関との病病連携強化、365日リハビリテーションの充実、など積極的な事業展開を行った年でした。来たる新年も、皆様方のご期待に添えるよう職員一同がんばってまいります。(広報委員会)

- 鹿教湯病院 ◆ 〒386-0396 長野県上田市鹿教湯温泉 1308 ☎ 0268-44-2111 FAX 0268-44-2117
- 三才山病院 ◆ 〒386-0393 長野県上田市鹿教湯温泉 1777 ☎ 0268-44-2321 FAX 0268-45-3709
- 豊殿診療所 ◆ 〒386-0004 長野県上田市殿城 250-4 ☎ 0268-29-1220 FAX 0268-29-1229
- 老健いずみの ◆ 〒386-8688 長野県上田市小泉 72-1 ☎ 0268-26-6600 FAX 0268-26-6615